

平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

川島地域ケアプラザ

2 事業計画

1 全事業共通

地域の現状と課題について

・川島東部地区は帷子川流域の平地と国道16号を挟んで広がる丘陵部からなる地区です。人口は徐々に減少しており、若い世代の人口減少により、高齢化率は上昇しています。ご家族から地域ケアプラザに相談していただける事もありますが、民生委員児童委員の方々からの相談でも一人暮らし高齢者の方への支援が多くなっています。地域福祉保健計画では、前年度からのふれあいウォーキングについて更に検討し、新たな取り組みに向けて、地域と共に活動を行っていきます。

・川島原地区は区北西部に位置し旭区と隣接しています。人口減少が進み高齢化率は33%を超え、著しく上昇しています。陣ヶ下溪谷公園など緑豊かな地区ですが、駅からは少し離れており、住民の多くがバスや車を利用して生活しています。小学校が統合されてから、地域で子どもの姿があまり見られなくなり、子育て世代の状況が把握しにくい状況があります。地域や行政と情報共有し、子どもへの個別支援や地域支援について協働し、継続的に支援していきます。昨年からの小学校のコミュニティを利用した介護予防を目的とした居場所づくり事業は、地域役員やボランティア等のご協力をいただきながら、継続した支援ができるように運営を行っていきます。

・西谷地区は駅周辺の比較的平坦な土地で、商店街や施設があり生活しやすい地区です。しかし昔からの住宅街では高齢化が進み、一人暮らし高齢者や要介護認定者数が多くなっています。駅から離れた地域の方々には、介護予防教室や、サロン等に参加する機会が少なく、お互いが交流する場も少なくなっています。地域の身近な場所で集えるような場の確保が必要かと考えています。今後西谷駅開発により大幅な利便性の向上が考えられますが、要援護者への的確な支援ができるように、小さなエリアでの地域状況を把握しながら、具体的な支援につなげていきたいと考えています。今年度は西谷地域での介護予防教室を展開し、地域ニーズの把握に努め、今後の支援に活かしていきます。

川島地域ケアプラザでは今年度も継続したケアプラザの周知活動と、地域の課題把握と情報提供のため、積極的に地域に出向いた活動を行っていきます。そして地域住民や医療、福祉、学校、企業等、様々な関係機関の方々との連携を密にし、ネットワークの構築と包括的ケアシステムの構築に努めていきます。また、定期的な地域ケア会議の開催と個別支援の充実を目指し、多職種連携の強化に努めていきます。多機関との連携を深めながら、5職種が協力し、生活支援体制整備事業の推進に向けて積極的に取り組んでいきたいと思っております。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

（目標）

1. 地域での会議など地域へ出向いた際は、ケアプラザ機能の周知拡大を図る。
2. 地域の関係機関との連携を更に強化し、地域住民の困りごとを的確にキャッチできるネットワークを形成する。

（具体的な計画）

1. 地域での講座や、出張講座開催時には川島出張相談会を同時に開催する。
2. 出前講座「メッセンジャー川島」を積極的にアピールし、地域に出向いた際は気軽に相談できる地域の窓口であることを周知する。
3. 講座後のアンケートや相談の内容から、地域課題を見出し、ケアプラザの事業に活かす。
4. 地域の商店や金融機関、交通機関などとの顔の見える関係をつくる為、「川島見守りほっとライン」、「川島 SOS ネットワーク」などの協力を依頼し、地域のネットワーク強化を図る。

(2) 各事業の連携

（目標）

1. 5 職種が積極的に地域へ出向き、地域情報を共有し事業に活かす。
2. 5 職種で協力し地域住民のニーズを把握し支援する。

（具体的な計画）

1. 毎月 5 職種会議を実施し、情報の共有と協力体制を強化する。
2. 5 職種が協力し出向いたエリアで健康や暮らしに関する地域アンケートを実施。ケアプラザに来館できない地域住民のニーズも広く収集・把握し、事業に活かす。
3. コーディネーターと 3 職種連携し地域支援者への後方支援や、地域活動の課題について地域と一緒に取り組む。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

（目標）

1. 職員のスキルアップのため研修体制を整える。
2. 計画的な研修や学習会を実施し、全職員の育成に努める。

（具体的な計画）

1. 研修計画に基づき、毎月定例で研修会・勉強会を行う。
2. 職員個々の課題に応じた研修への参加を促す。
3. 所内の定例研修会で伝達講習会、事例検討会での発表を職員が体験し更なる資質向上を図る。
4. 所内スローガンを策定・評価し継続実施する。
5. 所内研修や包括会議、毎朝の申し送り等でも、利用者の公正・中立性の確保、自己決定に向けての支援について職員間で確認共有する。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

(目標)

1. 地域の関係機関との連携を更に強化する。
2. ケアプラザへ足を運ばない地域へ活動を展開する。

(具体的な計画)

1. 西谷商店街フェスティバルに参加し、ケアプラザの周知と健康に対する啓発活動を行う。
2. ハイム向台へ事業を展開し、ケアプラザの機能周知と健康への啓発を行う。
3. 小学生への福祉学習のため、学年ごとの福祉学習支援を行う。
4. 民生委員児童委員、子育て支援等の会議に参加し、地域情報の把握と個別相談に迅速に対応できるようにする。
5. 地域特性を考慮し、地域役員と協力し事業を展開する。

(5) 区行政との協働

(目標)

1. 地域福祉保健計画の推進のため、地域と区社会福祉協議会、区役所と連携し取り組む。
2. 地域課題を把握し、地域の状況にあった支援を行う。

(具体的な計画)

1. ほっとなまちづくり懇談会の運営に積極的に協力支援する。
2. 地域ケア会議や地域の会合への参加、ケアプラザの地域アンケート等で地域情報を把握し、地域ニーズに沿った活動につなげる。
3. 認知症高齢者支援、SOS ネットワーク、虐待予防、子育て支援等、行政の関係機関と連携し的確な支援を行う。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

(目標)

1. 地域支援者や地域住民で作り上げる事業の実施に向けて支援していく。
2. 地域住民の年代ニーズに応じた自主事業企画を展開する。
3. 地域住民が継続的に交流できる場づくりを行い、地域の活性化を図る。

(具体的な計画)

1. 自主事業に関わる地域支援者、貸室利用団体、登録ボランティアから頂いた意見を取り入れ、皆で事業を作り上げているという実感が持てるよう意欲向上を図る。
2. 住民主体の事業となるよう、担い手の思いや意見を汲みとり、誰でも運営できるような基盤づくりを行う。
3. 地域アンケートでは、年代に応じたニーズの精選のためにアンケート内容のポイントを絞り、地域状況を把握する。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

(目標)

1. 貸室利用団体の登録を促進する。
2. 貸室利用団体の活動を活性化できる場を提供する。
3. 貸室利用団体の活動を地域支援につなげる

(具体的な計画)

1. 地域支援活動や地域の会合などに参加し、地域のニーズを把握することでその団体に合った貸室利用について情報提供する。
地域の子ども達による活動団体などからの、親睦会や会議による貸室利用登録は、ケアプラザを知ってもらう機会として生かしていく。また、新たに地域を盛り上げる人材資源となってもらえるよう、関係づくりに努める。
2. 貸室利用相談会を実施し、貸室利用の周知を行う。
3. 特技を生かし、福祉活動団体をつくる意欲のある地域住民を主体とした事業を実施する。さらに貸室利用登録団体へ導く。
4. ケアプラザ自主事業「健康フェスティバル」「文化祭」で貸室利用団体に活動の場を提供し、恒例化してもらうことで活動意欲の向上を図る。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

(目標)

1. 地域住民が身近に感じられるボランティア活動を企画する。
2. 地域支援ボランティアの育成と活動をアピールする。
3. ボランティアの活動意欲増進。

(具体的な計画)

1. ボランティア登録会を開催する。ボランティア未加入者も前向きになるような具体的な内容（園芸、木工、子育て等）を提案し、ボランティアの増員を図る。
2. 自主事業の参加者の能力を生かしたボランティアを提案し活動につなげる。
3. ボランティアの活動が目に見えるような内容（園芸等）から始め、その存在をアピールしていく。すでに登録しているボランティアにはやりがいをより感じてもらうよう支援する。さらに、未加入者にも活動の魅力をもっと伝える機会があるごと伝えていく。
4. 「地域支援者交流会」ではケアプラザのボランティアに地域支援活動を広く知ってもらう機会とする。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

(目標)

1. 福祉保健活動団体を地域住民がより身近に感じられる情報提供。
2. 地域支援者が活用できる情報誌を作成し地域住民について情報共有できる環境をつくる。

(具体的な計画)

1. 地域支援者情報誌「つながるほっとページ」では利用者の声なども追加掲載し地域住民がより身近にその団体を感じられるような内容にする。
2. 地域支援者情報誌「つながるほっとページ」を必要な方との関わりが多い民生委員など地域役員へ内容の周知に努める。支援者からもその方に合った情報を提供できるよう分かりやすい紙面づくりに努める。
3. 年1回の地域支援者交流会では地域支援者が他団体の活動を知り、自身の活動に対する意欲を高められるようにする。交流の場で得た情報を参加者が所属する活動団

体へ生かせるような内容とする。

4. 地域住民に対して行っていたアンケートは、年代別に発問を考え 子育て支援や小学生に対する事業、催事などのタイミングで実施する。その結果から地域住民が必要としている情報を知る手立てとする。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

(目標)

1. 地域住民へ生活支援体制整備事業の必要性を理解してもらう。
2. 総合事業サービスの開発を見据えた既存のインフォーマルサービスの把握。
3. 生活支援コーディネーターとして地域支援者と関わりが持てるようにする。

(具体的な計画)

1. 地域活動の場や地域役員の会合に出向き生活支援コーディネーターのパンフレット等を使用しながら説明する機会をつくる。
2. 地域活動の場に出向き、参加者、支援者の把握と活動の情報収集を行うと同時に生活支援サービス補助事業として要支援者等が受け入れられる体制にあるか聴き取り等を行い把握する。
3. 地域支援者との関わりの中で積極的に地域活動や生活環境について把握し、地域支援者から情報提供を求められる関係づくりを行う。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

(目標)

1. 地域の日常生活の環境を把握し、小地域毎の地域アセスメントを行う。
2. 地域に関する情報の見える化及び地域住民に対し、分かりやすい情報提供。

(具体的な計画)

1. 日常生活環境の把握の為、包括支援センターで対応している相談をデータ化、出張事業等での地域アンケート、聴き取り調査の結果を元に包括エリア内での生活環境を分析し、自主事業の企画や地域支援活動に活かしていく。
2. -1 地域アセスメント等の結果を、地域の現状理解につなげられるよう、地域住民に情報提供する為の冊子やリストを作成する。
2. -2 地域支援情報誌「つながるほっとページ」を地域住民に広く活用してもらえるように、写真の掲載等内容を修正し、同時に更新作業を行う。
また、既存の団体以外にも地域支援活動団体の発掘に取り組み、多くの団体を紹介できるよう地域に出向き情報収集を行う。

(3) 連携・協議の場

(目標)

1. 地域活動支援者との顔のみえる関係づくり。
2. 地域における住民の関係、ネットワーク等の全体像の把握
3. 地域支援者、団体のネットワークの基盤づくり。

(具体的な計画)

- 1-1. 地域活動の場や地域役員会 合に出向き生活支援コーディネーターの役割を地域住民に周知していく。また関係づくりの中で地域活動のキーパソンなど地域づくりに必要な情報を収集し、把握する。
- 1-2. 把握した情報を活用し、地域住民とのつながりを拡大していく。
2. ケアプラザ主催「地域支援者交流会」で地域支援者同士が交流を図る機会を設け、ネットワーク構築のための基盤づくりを行う。
3. 地域のニーズ、課題の把握から必要に応じて協議体開催を検討していく。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

(目標)

1. 広域の地域課題を抽出し、地域住民へ周知するツールの作成。

(具体的な計画)

1. 小地域での地域アセスメントを元に広域の地域の共通課題を抽出する。地域課題等について地域住民が把握できるよう、提示できるデータ集を作成する。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

(目標)

1. 住民や多職種との連携体制が円滑に行えるようにする。

(具体的な計画)

1. 「地域見守りほっとライン」を拡大発展させ、地域の中の見守り機能の発展、ネットワーク構築を目指す。具体的には包括域の地域ケア会議の中で決定した「地域見守りほっとライン」の周知チラシ改良を予定。今後の事業発展も包括域地域ケア会議と連動して進めていく。
2. 「川島SOSネットワーク」の協力関係機関を増やし、徘徊者の地域見守り体制を強化していく。
3. 民生委員児童委員の定例会などに定期的に参加し、地域の情報やケースの情報共有をはかり、気軽に相談できる体制を強化していく。
4. 個別地域ケア会議を開催し、地域の課題把握に努める。

② 実態把握

(目標)

1. 地域の実態情報や課題を把握し、今後の支援に活かしていく。

(具体的な計画)

1. 毎月地域の地区社会福祉協議会や民生委員児童委員の定例会に参加し、地域の問題や現状把握を行う。
2. 相談者の実態調査や地域住民の暮らしぶりのアンケートを生活支援コーディネーターと共同し、作成。実施していく。
昨年度に相談内容やどの地域にどんな相談が多いのかを把握するためデータ集計した。知り得たい情報を分かり易く分析するため、項目を増やし改めてデータ集計できるようにする。今後の事業や地域課題解決などに役立てる。

③ 総合相談支援

1. 地域包括支援センターの周知
2. 専門機関、地域関係機関との連携強化
3. 相談後のフォローアップ

(具体的な計画)

1. 出前講座メッセージ川島の推進・地域包括支援センターの周知
2. 医療、介護、権利擁護などそれぞれの専門職との事業や会議等にて関係性を築き、相談時にスムーズに連携できる体制強化を目指す。
3. 「川島見守りほっとライン」を更に拡大発展させ、総合相談の充実をはかる。
4. 包括3職種がスムーズに連携できるように、毎朝の申し送りの会議を実施。困難ケースなど気軽に相談し合い、支援の方向性を決めていく。
5. 独居もしくは定期的な声掛けが必要な方の孤立予防、熱中症予防、安否確認を目的とした、電話または訪問により様子を確認し安全な生活を支援する。
事業名「川島お便りコール」

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

(目標)

1. 地域住民に向けた権利擁護に関する制度や情報提供の促進。
2. 個別ケース支援体制の強化。

(具体的な計画)

1. 地域住民や介護・福祉や医療従事者に対する行政書士による「川島くらしの相談室」を定期開催し、権利擁護関連の問題や不安に対して支援する。
2. 地域住民の方々が自身の将来の権利擁護意識を高めるため地域に出向いて普及啓発を実施する。地域の実情やニーズを把握し、より多くの方が知っていただけるような機会を設ける。
3. 振り込め詐欺など消費生活問題に関する情報提供を地域の方に行う。地域の駐在所と情報共有を密にし、タイムリーな犯罪・情報を提供できるようにする。
4. 個別ケース対応について、専門機関や家族の役割分担と連絡体制を明確にし、円滑な支援ができるようにする。

② 高齢者虐待への対応

(目標)

1. 虐待ケースの支援体制の強化。

(具体的な計画)

1. 常に相談が受け入れられる態勢を整える。
2. 必要があれば行政機関と連携をとり、支援の方向性を話し合う。
3. 虐待のおそれがある家庭に対し、区役所と連携し定期的な声掛けや見守り訪問を実施していく。
4. 保土ヶ谷区包括支援センターの社会福祉士分化会にて日常生活の中で虐待を発見しやすいサービス事業所への高齢者虐待の普及啓発を検討していく。

③ 認知症

(目標)

1. 地域へ認知症の普及啓発、見守り協力者の拡大をはかる。

(具体的な計画)

1. 地域の商店、金融機関、交通機関などに認知症サポーター養成講座を開催していく。同時に「地域見守りほっとライン」や「川島SOSネットワーク」の協力依頼をする。
2. 福祉教育の観点から小学校、中学校にもサポーター養成講座を実施し、認知症の方の理解と接し方を学んでいただく。
3. 「～介護者のつどい～やきいもの会」で介護者の不安や負担が軽減できるよう支援する。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

(目標)

1. 地域住民や関係機関へ情報提供を行い相談等の拡大を図る。
2. 地域会合の場に参加し、相談出来る関係づくりを継続構築する。

(具体的な計画)

1. 毎月地域の地区社会福祉協議会や民生委員児童委員会の定例会に参加し、地域の問題や現状把握を行う。
2. 相談者実態調査を行う。
地域別データを出し、どの地域からどの様な相談が多いか等を集計する。
3. 地域に出向いた際にはアンケート等を活用し地域の課題解決に役立てる。
4. 個別ケア会議を充実させ課題の対策や新たな資源開発に向けていく。
5. 民生委員児童委員と情報を共有して独居高齢者の状況把握を行う為に同行訪問をする。委員の方との連携や推進を図る。
6. 年2回民生ケアマネ連絡会を開催し、民生委員とケアマネが円滑に連携できる関係づくりの場を設ける。

②医療・介護の連携推進支援

(目標)

1. ケアマネジャーと医療機関の連携がスムーズに行える場づくりをする。

(具体的な計画)

1. 合同ケアマネ連絡会にて10月パーソンドケアの認知症研修を開催する。
2. 協力・連携強化の為、地域の医療機関へ定期的に訪問する。
3. ケアプラザ主催の多職種連携会議ではALS支援の連携成功事例を8月に開催予定。

③ケアマネジャー支援

(目標)

1. 困難事例等悩み事相談、意見交換、介護保険制度の情報共有の場づくり。
2. ケアマネジャーとの協力体制をつくる。
3. ケアマネジャーからの個別相談の対応。

(具体的な計画)

1. 川島さくらんぼなどで地域のケアマネジャーと情報の交換や相談支援の場を設ける。
2. 地域の居宅介護支援事業所へ定期的に訪問して困難事例の後方支援や担当者会議開催支援の助言を行う。
3. 虹色通信を配布し介護保険に関する最新の情報を共有してケアマネジャーのスキルアップを図る。
4. 区内包括合同ケアマネ連絡会で事例検討、講演会などを開催する。
新任・就労予定ケアマネジャー研修を行い継続的に支援する。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

(目標)

1. 多職種と共同し、地域の課題の解決と支え合うネットワークの構築を目指す。

(具体的な計画)

1. 多職種連携会議を開催し、医療機関と介護事業所が意見交換や情報の共有・協力できる体制づくりを行う。
2. 個別地域ケア会議を開催し、支援者間での課題の共有やネットワークづくりを行う。
3. 包括域の地域ケア会議をコアメンバー中心に実施する。地域の課題解決に向けた話し合いを行うとともに、地域の支え合うネットワーク構築に向けて具体的な取り組みを実施していく。

(5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

(目標)

1. 介護予防委託事業者の介護予防のフォローアップ。
2. 介護予防マネジメント力の向上を図る。
3. 地域住民への介護保険制度への理解を深める。
4. 日常生活支援総合事業訪問型サービスBの情報を収集し、必要時対応できるように

ケアマネジャーに周知していく。

(具体的な計画)

1. 所内で介護予防給付と総合事業の内容について情報交換し、必要なサービスについて速やかに対応する。
2. 「川島さくらんぼ」にて引き続き情報提供、事例検討、意見交換を行う。介護予防・生活支援サービス補助事業の情報収集・提供を行う。
3. 「新任・就労予定ケアマネジャー研修」では介護予防・自立支援のための考え方を学習する。
4. 「メッセージャー川島」で地域住民に向けて介護保険制度の役割や介護サービス、総合事業等について説明する。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

(目標)

1. 地域の方が身近なエリアで介護予防に取り組める機会を設ける
2. 男性の外出支援と介護予防事業に取り組む機会を設ける
3. 担い手の人材育成を継続するとともに、すでに担い手として活動をしている人たちが交流し活動を継続する機会を設ける

(具体的な計画)

1. 自主活動グループが支援者不在でなくなった向台のエリアで介護予防事業を開催する
2. 介護予防が必要な男性の介護予防事業への参加が少ないため、「男性のための体操教室」を開催し、既存の男みがき塾への参加を促す。また、必要があれば自主グループとして支援していく。
3. 川島健康づくり隊・健康づくり隊フォローアップ事業の開催。卒業生が活動する際にはユニフォームを着用し、地域住民への周知も行っていく。
4. 生活支援コーディネーターとともに既存グループの後方支援や地域アセスメント、参加者の状況を把握し、適宜相談につなげるようにする。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

施設管理の保守メンテナンスの業務委託契約を行い、修繕等については区役所事業企画担当と相談調整し、適切に管理していきます。

また、施設点検日を毎月最終金曜日に設けて、空調設備、消防設備、エレベーター等の保守点検を専門業者に委託し施設管理を適正に行っていきます。

日常清掃や消耗品の補充管理については、地域の皆様が快適にご利用いただけるように委託業者と職員により毎日実施していきます。毎月1回職員による施設清掃を実施し、普段清掃できていない箇所の清掃、維持管理を行っていきます。

イ 効率的な運営への取組について

リーダー会議と運営会議を毎月1回実施し、サービスの質の向上と今後に向けての事業検討と意見交換を行い、円滑で効率的な運営を目指していきます。地域の皆様からのご意見やアンケート結果等から事業内容の見直しを随時行い、地域のご要望に合った事業展開を検討していきます。業務については効率化がはかれるように評価、改善を実施していきます。

毎朝職員間でミーティングを行い、事業や相談業務の対応に支障がないように業務の調整と確認を継続していきます。

ケアプラザの労務、経理等の事務処理については、法人本部と連携し業務分担を行い、事務の効率化を図っていきます。

電気については、今年蛍光灯からLEDに変更し、電気消費量の削減を図っています。不要な電気をこまめに消し、空調の適正温度の設定等をご利用者にも周知し、施設全体でエネルギーの節減に取り組んでいきます。

ウ 苦情受付体制について

館内に「川島地域ケアプラザ相談窓口・苦情対応窓口」のお知らせを掲示しています。ご意見箱を正面玄関と1階・2階の各部屋に設置しています。来館された地域の方の生の声がいただけるよう、いつでも自由に記載できるような環境としていきます。さらにホームページを活用し、広く多くの方々よりご意見をいただける体制とし、いただいたご意見や苦情等は館内に掲示して改善策を公開していきます。

居宅介護支援事業の利用者との契約に際しては、「重要事項説明書」に苦情申し出の仕組みを記載しています。

各職員が丁寧にご利用者の意見を聞くように努めており、小さな苦情でも所長に報告するよう職員に周知しています。また法人内には、第三者委員会を設置し客観的な視点を取り入れ、潜在化している地域の声を吸い上げられるような仕組みをとっています。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

防犯マニュアル等が作成設置してあり、もしもの時に迅速な安全対応ができるように、平素から準備しています。

防災訓練を年2回計画し、職員の防災に対する意識向上を図ると共に、マニュアルにそった対応ができるように訓練していきます。訓練時は実際を想定し、施設利用者や地域住民に訓練参加を声かけ、防災の普及啓発と研修の場を提供していきます。そして消防署の指導を受け災害時に備えていきます。

閉館時には毎日職員が館内外の異常の確認点検を実施していますが、些細な点についてもいつもと違っている箇所等があった場合は所長に報告していきます。夜間は機械警備による体制をとっていますが、定期的な機械設備の点検を行い、緊急時・災害時には緊急連絡網により職員間の万全な連絡体制がとれるようにしていきます。

横浜市より特別避難場所としての指定を受け、災害時の要援護者の受け入れを行うため、備蓄物資の管理を適正に行っていきます。特別避難場所開設に当たり、職員が的確な行動がとれるように研修を行い、継続した訓練を行っていきます。

オ 事故防止への取組について

軽微なものも含め、全ての事故に対して迅速な報告・連絡を徹底し、報告書を作成し対応していきます。事故及びヒヤリハット調査を重点的に行い、何が原因かを追究し、同じ事故が起きないように具体策を検討していきます。さらに具体策をマニュアルにも反映させ、マニュアルの改訂を行っていきます。

事故発生時対応マニュアルや感染症対策マニュアル等で、全職員の共通理解を図っていきます。万が一、事故が発生した場合は、速やかに区・市へ報告をしている。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報は施錠可能な場所に保管し管理をしていきます。毎年個人情報研修を開催し、職員の個人情報保護に対する意識を高めていきます。

実際の個人情報が含まれる書類等については、施錠できる棚に管理し、ファックス利用時や郵送時は、ダブルチェックを徹底していきます。個人情報はサーバーにて管理しており、職員のみ活用できるようになっています。

事故と考えられる事例が発生した場合は、職員間で今後の対策を十分に検討し、徹底した管理ができるように改善していきます。

個人情報の漏えいを防ぐためのマニュアルやシステムを再確認し、よりの確なシステムの構築を目指して改善を行っていきます。

キ 情報公開への取組について

川島地域ケアプラザ情報公開規定に則り、積極的に情報を公開し対応していきます。ケアプラザの情報は、広報誌「リーベ川島」や区の広報を活用し、地域住民へ毎月情報提供していきます。またホームページを活用して各種事業に関する情報等をわかりやすく市民の方々に提供していきます。内容については、新規情報をタイムリーに広報できるように毎月職員による更新を行っていきます。

ク 人権啓発への取組について

認知症や精神疾患の理解を深めるために、外部研修に参加し、所内での研修会、伝達講習会を開催し、職員の知識向上を図ります。障がい者差別解消法の理解や、虐待事例等を通して、法的理解と具体的支援について学習する機会を設けていきます。また、個人としての倫理基準として、個人の尊厳や守秘義務、人権の尊重について等、所内研修で意見交換をしながら、人権啓発に取り組んでいきます。

ケ 環境等への配慮及び取組について

まず、ごみにならないように再利用可能な商品を基本的に使用します。ごみの分別を的確に実施し、ごみの減量化と環境保護に全職員で取り組んでいきます。

ケアプラザをご利用の方には、ごみの持ち帰りを呼びかけ、ごみ削減の意識付けを図っていきます。

業務上可能であれば裏紙の再利用を積極的に行っていきます。ケアプラザの封筒は再利用できるような形をとっており、環境問題への取り組みを事業所全体で継続的に行っていきます。

電気の節電対策としてブラインドを閉め、早朝からの直射日光を遮り、夏場の室内温度の上昇を少しでも防げるように取り組んでいきます。

使用していない部屋の空調の停止を徹底し、空調にかかるエネルギー消費の削減に取り組めます。

今年度は施設内の蛍光灯をLEDに交換し、電力の削減につなげていきます。

また地域への訪問時には車を控え、電動自転車・スクーターの利用を心がけていきます。

介護保険事業

指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

社会福祉士	1名
主任ケアマネジャー	1名
保健師	1名
介護支援専門員（兼務）	1名

計画的に人員補充を行い、適切な運営をしていきます。

《目標》

- ・可能な限り自立した生活が継続できるよう、ご本人の意思を尊重し、その人らしい生活の維持向上を図っていきけるよう支援していきます。
- ・ご本人の状態にあった介護予防プランの作成を致します。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

実費負担はなし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・関係機関と連携をとりながら適切なプランの作成を行っていきます。
- ・必要に応じて、インフォーマルサービスや地域資源の紹介を行い、ケアプランに取り入れ、包括的な支援を行っていきます。
- ・地域住民やご利用者様に向けて、健康や権利擁護、介護保険等様々な情報を、年3回「包括ニュース」として広報誌にまとめ、発行し情報提供していきます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
145	145	145	145	147	147
10月	11月	12月	1月	2月	3月
147	147	150	150	150	150

居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員 常勤専任 2名
常勤兼務 1名
非常勤兼務 1名

《目標》

- ・ご本人様、ご家族様のニーズを受け止め、その人らしい生活ができるように支援をしていきます。
- ・ご本人様の自立した生活を支援し、公平中立な立場で居宅サービス計画を作成するとともに、福祉サービスや医療サービスが総合的に提供されるよう、関係機関等の連絡調整を行っていきます。
- ・困難事例に対しても適切な支援ができるように、お互いのコミュニケーションや多機関との連絡調整を充分に行い、支援をしていきます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

実費負担はなし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・特定事業所加算Ⅱを算定取得しています。支援困難事例への専門性の高いマネジメントを提供できるように努めます。
- ・ご利用者様に向けて、広報紙「エスポワール」を年2回作成し、地域住民へ介護保険情報をわかりやすく提供していきます。
- ・独自のアンケートを毎年実施し、より良いサービスの向上を目指していきます。
- ・サービス向上の一環として、季節に合った手作りカードをお渡しすることで、コミュニケーションを深め、信頼関係を築いていきます。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
96	96	96	96	97	97
10月	11月	12月	1月	2月	3月
97	97	98	98	98	98

平成29年度 【横浜市川島地域ケアプラザ】 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,002,600	0	18,002,600		18,002,600	横浜市より
利用料金収入	△ 600,000		△ 600,000		△ 600,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	600,000		600,000		600,000	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	0		0		0	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	0		0		0	第3期の指定管理施設のみ
収入合計	18,002,600	0	18,002,600	0	18,002,600	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,470,000	0	12,470,000	0	12,470,000	
本俸	7,900,000		7,900,000	0	7,900,000	
社会保険料	1,110,000		1,110,000	0	1,110,000	
手当計	1,290,000		1,290,000	0	1,290,000	
健康診断費	100,000		100,000	0	100,000	
勤労者福祉共済掛金	1,460,000		1,460,000	0	1,460,000	ハマふれんど等
退職給付引当金繰入額	380,000		380,000	0	380,000	
その他	230,000		230,000	0	230,000	
事務費	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000	
旅費	3,000		3,000	0	3,000	
消耗品費	500,000		500,000	0	500,000	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信費	58,000		58,000	0	58,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	0	100,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	22,000		22,000	0	22,000	
職員等研修費	10,000		10,000	0	10,000	
振込手数料	500		500	0	500	
リース料	45,000		45,000	0	45,000	
手数料	7,600		7,600	0	7,600	
地域協力費	100,000		100,000	0	100,000	
その他	153,900		153,900	0	153,900	
事業費	642,000	0	642,000	0	642,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	600,000		600,000	0	600,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	2,893,000	0	2,893,000	0	2,893,000	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	1,359,000		1,359,000	0	1,359,000	
電気料金	1,077,660		1,077,660		1,077,660	
ガス料金	51,540		51,540		51,540	
水道料金	229,800		229,800		229,800	
清掃費	400,500		400,500	0	400,500	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	
機械警備費	395,000		395,000	0	395,000	
設備保全費	257,100	0	257,100	0	257,100	
空調衛生設備保守	35,500		35,500	0	35,500	
消防設備保守	130,000		130,000	0	130,000	
電気設備保守	35,600		35,600	0	35,600	
害虫駆除清掃保守	35,500		35,500	0	35,500	
駐車場設備保全費	20,500		20,500	0	20,500	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	7,400		7,400	0	7,400	
公租公課	997,600	0	997,600	0	997,600	
事業所税			0		0	
消費税	997,600		997,600	0	997,600	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	18,002,600	0	18,002,600	0	18,002,600	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 「横浜市川島地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書 (特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料 (包括)	23,002,000		23,002,000		23,002,000	横浜市より
指定管理料 (介護予防)	150,000		150,000		150,000	横浜市より
指定管理料 (生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入	1,500,000		1,500,000		1,500,000	介護保険収入等充当分
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	0		0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0		0	
その他 ()			0		0	
その他 ()			0		0	
収入合計	30,441,000	0	30,441,000	0	30,441,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,749,000	0	25,749,000	0	25,749,000	
本俸	11,000,000		11,000,000		11,000,000	
社会保険料	2,800,000		2,800,000		2,800,000	
手当計	4,700,000		4,700,000		4,700,000	
健康診断費	700,000		700,000		700,000	
勤労者福祉共済掛金	3,200,000		3,200,000		3,200,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,180,000		1,180,000		1,180,000	
その他	2,169,000		2,169,000		2,169,000	
事務費	825,000	0	825,000	0	825,000	
旅費	18,000		18,000		18,000	
消耗品費	200,000		200,000		200,000	
会議ठीい費	0		0		0	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	260,000		260,000		260,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	100,000		100,000		100,000	
図書購入費	5,000		5,000		5,000	
施設賠償責任保険	8,000		8,000		8,000	
職員等研修費	30,000		30,000		30,000	
振込手数料	5,000		5,000		5,000	
リース料	22,000		22,000		22,000	
手数料	80,000		80,000		80,000	
地域協力費	16,800		16,800		16,800	
その他	80,200		80,200		80,200	
事業費	2,276,000	0	2,276,000	0	2,276,000	
協力医	630,000		630,000	0	630,000	指定額
介護予防事業	150,000		150,000	0	150,000	
生活支援体制整備事業費	770,000		770,000	0	770,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	726,000		726,000	0	726,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	1,591,000	0	1,591,000	0	1,591,000	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	365,000	0	365,000	0	365,000	
電気料金	299,000		299,000		299,000	
ガス料金	8,000		8,000		8,000	
水道料金	58,000		58,000		58,000	
清掃費	235,000		235,000	0	235,000	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	
機械警備費	300,000		300,000	0	300,000	
設備保全費	254,000	0	254,000	0	254,000	
空調衛生設備保守	10,000		10,000	0	10,000	
消防設備保守	37,000		37,000	0	37,000	
電気設備保守	17,000		17,000	0	17,000	
害虫駆除清掃保守	75,000		75,000	0	75,000	
駐車場設備保全費	35,000		35,000	0	35,000	
その他保全費	80,000		80,000	0	80,000	
共益費	35,000		35,000	0	35,000	
その他	276,000		276,000	0	276,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他 ()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	30,441,000	0	30,441,000	0	30,441,000	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額				
	②募集人数	総経費	収入		支出	
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費
ほっとホット茶屋	地域住民	60000		44000		60000
	20名×22回					
	100円					
川島ハーモニー ドレミ	地域住民	98000		105000	63000	35000
	50名×21回					
	100円					
健康講座	地域住民	10000				10000
	20名×11回					
	無					
ぴーすらんど	子育て中の親子	23000			8000	15000
	30名×11回					
	無					
ぺこぼこ教室	子育て中の親子	174000			144000	30000
	20名×12回					
	無					
室内スポーツ『ポッチャ』	身体に支障のある	8000				8000
	10名×11回					
	無					
がっこうのかえりDEHIPHOP ダンス	何らかの障がいをもつ	60000			60000	
	10名×12回					
	無					
すまいるぶらす	地域住民	20000			20000	
	15名×6回予定					
	無(材料費別)					
横浜いきいきポイント 登録説明会	地域住民	0				
	10名×1回					
	無					
すまいるフォークダンス	地域住民	51000		48000	36000	15000
	20名×12回					
	200円					
映画上映会	地域住民	54000				54000
	50名×2回					
	無					
こども夏休み教室	小学生	20000			10000	10000
	10名×2回					
	500円					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
AED講習・避難訓練	地域住民	0					
	20名×2回						
	無						
川島文化祭作品展	地域住民	30000				30000	
	40名×1回						
	無						
川島文化祭	地域住民	250000		100000	15000	235000	
	500名×1回						
	模擬店購入費						
川島さんぼ	地域住民	10000				10000	
	30名×3回						
	無						
福祉教育	小学生	0					
	小学校全校						
	無						
健康フェスティバル	地域住民	200000			16000	184000	
	200名×1回						
	無						
川島さくらんぼ	ケアマネジャー	5000				5000	
	15名×10回						
	無						
包括合同ケアマネ連絡会	ケアマネジャー	3000			3000		
	60名×9回						
	無						
民生委員とケアマネ連絡会	民生委員、ケアマネジャー	3000			3000		
	50名						
	無						
医療と介護の連携推進 多職種連携	地域の関係機関	3000			3000		
	90名						
	無						
介護者のつどい ～やきいもの会～	介護者	25000		4500		25000	
	9回						
	100円						
川島くらしの相談室	地域住民	9000			9000		
	3回						
	無						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額				
	②募集人数	総経費	収入		支出	
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費
男みがき塾5	65歳以上男性	30000		22000		30000
	15					
	200					
クックGメン	65歳以上男性	36,000		28,800		36,000
	8名					
	400円					
地域支援活動情報誌 発行	地域住民等	30,000				30,000
	なし					
	なし					
ふれあいさんぽ	地域住民	10,000				10,000
	20名					
	なし					
地域支援者交流会	地域支援者と ケアプラザボランティア	15,000				15,000
	70名					
	なし					
ハッスル体操	①65歳以上の区民	220000		40000	220000	
	②200					
	③200					
ビギナーヨガ	①65歳以上の区民	54000		46000	54000	
	②230					
	③200					
出前講座メッセンジャー川島	①地域住民	3000		0		3000
	②800					
	③なし					
地域後方支援事業	①地域住民	0		0	0	
	②800					
	③なし					
あったかサロンぬくぬく	①地域住民	30000		25000		30000
	②250					
	③100					
川島健康づくり隊	①地域住民	35000			30000	5000
	②30					
	③無					
健康づくり隊フォローアップ 事業	①地域住民	5000				5000
	②30					
	③無					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
認知症サポーター養成講座	①地域住民	0					
	②400						
	③無						
健康ニコニコウォーキング	①地域住民	1000				1000	
	②35						
	③なし						
川島元気塾	①地域住民	70000			60000	10000	
	②50						
	③なし						
男性のための体操教室(仮)	①65歳以上男性	20000			20000		
	②30						
	③なし						

平成29年度 自主事業計画書

横浜市川島地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
川島さくらんぼ	<p>【目的】 ケアマネジャーとの情報交換、相談等を通して、現状の把握を行う。支援の場を定期的に設ける。</p> <p>【内容】 「川島さくらんぼ」は毎月1回定期的に開催し、ケアマネジャー同士の交流の場などを設けている。情報の交換、悩みや近況の報告などを気軽に話し合える場を提供している。</p>	毎月1回 第3金曜日 8月 1月以外 (年10回) 【予算】 5,000 【参加費】 なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
包括合同ケアマネ連絡会	<p>【目的】 テーマに沿った講演会、勉強会を通じてケアマネジャーのスキルアップを図る。</p> <p>【内容】 勉強会 研修会の開催 ケアマネジャー連絡会毎月開催 4月12日地域包括ケアとコグニサイズ 4月21日ファシリ研修 5月17日課題整理総括表・評価表 6月16日ファシリフォローアップ研修 6月21日ICFの視点 9月20日クリーフケア・デスエディケーション 10月31日認知症研修 11月社会福祉士との共催事業 12月歯科医師講義とグループワーク</p>	4月(2回) 5月6月 (2回) 9月10月11 月12月計9回 (7月3月は各ケア プラザで開催) 【予算】 3,000 【参加費】 なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
民生委員とケアマネ連絡会	<p>【目的】 関係機関と連携し、地域に住む高齢者の見守り体制の強化と推進。民生委員、ケアマネジャーに向けて地域ネットワークの必要性についての講演会。</p> <p>【内容】 民生委員とケアマネジャーとの連絡会 年2回</p>	年2回 7月3月の予定 【予算】 3,000 【参加費】 なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療と介護の連携推進 多職種連携	<p>【目的】 医療機関とケアマネジャーとの連携が円滑に行えるように、連絡会等で意見交換や協力体制を整える。 ・地域包括ケアを進める為に医療機関との連携を積極的に進める。</p> <p>【内容】 多職種連携会議の開催</p>	前期、後期 2階開催予定 【予算】 3,000 【参加費】 なし

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい ～やきいもの会～	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅で介護している介護者の方が集い、介護者同士の情報交換の場を提供し、今後の在宅介護の活力にしてもらう。 ・それぞれの介護生活の現状を話してもらい、お互いの状況を把握してもらう。介護を卒業された方からは介護されている方に対し、アドバイスなど声掛けしてもらう。 ・介護や健康、権利擁護関連の介護者にとって有益となる情報提供や勉強会を開催し、今後の介護生活に活かしていただく。 <p>【内容】</p> <p>毎回、違ったテーマで介護に関する情報提供や勉強会を行うとともに、介護者同士が気軽に話せるような交流会、懇話会を行う。</p>	<p>毎月第三火曜</p> <p>【予算】 25,000</p> <p>【参加費】 100円/回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島くらしの相談室	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や介護従事者など高齢者を支援する専門職の方が気軽に権利擁護関連の相談ができる場を提供する。 ・コスモス成年後見サポートセンターの協力を受け、連携体制を強化する。 <p>【内容】</p> <p>コスモスサポートセンターに所属する行政書士の方がケアプラザの一室で待機していただき、経理擁護関連（遺言、相続、成年後見など）の相談対応していただく。包括職員も同席し、生活・介護の視点からも相談対応し、連携体制を築く。</p>	<p>開催随時</p> <p>【予算】 18,000</p> <p>【参加費】 なし</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男みがき塾5	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退職後「外出が少なく、体が怠けている」、「特に趣味がなく家にばかりいて、人との交流が少ない」などおおよそ60歳以上の男性を対象に外出機会をつくる。 ・男性同士の交流を深める機会とし、仲間づくりのきっかけとなる。 ・健康・運動や趣味活動、ケアプラザの活動を知ってもらい、他の事業参加のきっかけとしてもらう。 ・参加者の自主性を高めボランティアへつながるようにする。 <p>【内容】</p> <p>年間11回コースで運動、ウォーキング、ものづくりなどを通し、参加者同士の交流をはかる。またケアプラザの自主事業や地域の支援活動を紹介し、地域との関わりをよりもてるよう支援を行う。</p>	<p>開催随時</p> <p>【予算】 30,000</p> <p>【参加費】 200円/回</p>

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハッスル体操	【目的】 ①全身の筋力の維持、柔軟性を高め転倒予防を図る ②体を動かすことや声を出すことで脳を活性化させ、認知症予防を図る ③地域の方々が交流できる場の提供 【内容】 ① 脳の体操（手指、足先を動かしながら声も出すという2つの動作を同時に行う） ② 座位・立位によるストレッチ ③ストレッチボールやセラバンドを用いて筋力トレーニング 運動レベルは軽度、足腰の悪い方や軽度の認知症がある方でも参加可能なやさしめコース	毎月1・3火曜 【予算】 220,000円 【参加費】 200円/回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ビギナーヨガ	【目的】 ①はじめて運動を始める方への事業として、全身の筋肉維持や関節を柔軟にし、健康づくりや介護予防を図る ②心と体のコリをほぐし、メンタルのバランスを整える ③地域の方々が交流できる場の提供 【内容】 ①座位にて呼吸法、上肢の筋肉を鍛えるポーズ ②立位にてバランスや柔軟性を高めるポーズ ③仰臥位にて瞑想、リラクソポーズ 運動レベルは軽度、はじめてヨガを始められる方を対象としたやさしめのコース	毎月第1金曜 【予算】 54,000円 【参加費】 200円/回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あったかサロン ぬくぬく	【目的】 ①ケアプラザまで足を運べない方々が身近な場所で交流できる場の提供。 ②体を動かすことや声を出すことで脳を活性化させ、認知症・介護予防を図る。 【内容】 ①テーブルでお茶を飲みながら一息できる空間をつくり、歌や体操など参加者全員で楽しむ。 ②参加者が孤立しないよう話し相手のボランティアを配置し、声掛け等を実施し交流の支援を行う。 ③職員を2名以上配置し、自主事業の案内や参加者からの要望などを収集できる体制をとる。	毎月第4月曜 【予算】 15,000円 【参加費】 100円/回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島元気塾	【目的】 ①介護予防に関する知識の習得 ②参加者自ら介護予防に取り組むためのきっかけづくり 【内容】 高血圧予防講座、口腔ケア、ロコモ予防の分野で各2回実施。各分野で知識を深め介護予防に取り組む機会とを設ける。	年6回 【予算】 80,000円 【参加費】 300円 （調理実習のある回のみ）

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>【目的】</p> <p>①地域の方々に認知症について正しく理解してもらう。</p> <p>②認知症になっても地域の中で安心した生活ができるよう、認知症の方への対応のしかたについて考える機会を設ける。</p> <p>【内容】</p> <p>①認知症に関する講話</p> <p>②認知症の方への接し方などの寸劇</p> <p>③参加者同士で考える時間を設け、認知症についての理解を深められるよう支援する</p>	<p>【予算】</p> <p>5,000円</p> <p>【参加費】</p> <p>なし</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域後方支援事業	<p>【目的】</p> <p>①地域の方々が健康づくり・介護予防のため継続して活動していけるように支援（情報提供や実技指導など）を行う</p> <p>②地域の活動状況の把握（体操教室、茶話会、食事会、老人会など）</p> <p>【内容】</p> <p>①地域内で活動している場に訪問し、体操・レクリエーションの実施や体組成計などの健康器具を用いて健康チェックを行う。</p> <p>②地域の方々が継続して活動していけるように後方支援（情報提供や実技指導など）を行う。</p>	<p>適宜</p> <p>【予算】</p> <p>なし</p> <p>【参加費】</p> <p>なし</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島健康づくり隊	<p>【目的】</p> <p>①地域の方々が健康で生きがいのある活動的な生活を送ることができるように、健康づくりや介護予防に取り組むグループを支援する</p> <p>②地域の方々のグループ活動等をサポートできる人材の育成</p> <p>【内容】</p> <p>健康指導講師より認知症予防のレクリエーション、転倒予防のストレッチの方法と体操教室の開催・進行方法の指導を受けた。</p> <p>地域に出向き、活動中の地域グループの中で1日ボランティア体験をし、体験したことを参加者と講師で共有し次への活動に活かすことを振り返る。</p>	<p>【予算】</p> <p>35,000</p> <p>【参加費】</p> <p>なし</p>

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとホット茶屋	<p>【目的】①地域住民が気軽に楽しく集える場を提供し、参加者同士が交流を深め、地域のつながりを広げる。②ボランティア活動者が地域住民へ活動を発表する機会を設け、ボランティア活動の活性化を図る。③参加者が共通の趣味活動を通して交流し、仲間意識を持った活動の場が広がるようにする。</p> <p>【内容】午前は①テーブルでお茶と茶菓子を飲みながら一息できる空間をつくり、一人での参加者が孤立しないよう話し相手のボランティアを配置し、声掛け等を実施交流の支援を行う。②ボランティアの発表の場としてボランティア活動支援を行うと共に、歌や体操など参加者全員で楽しめるよう環境づくりを行う。③職員を1名以上配置し、自主事業の案内や参加者からの要望などを収集できる体制をとる。④月1回誕生会を実施する。その月が誕生月にあたる参加者に参加者全員で歌とカードのプレゼントを行う。</p> <p>午後は⑤趣味活動の意向を参加者に伺い、材料の準備と実施できる環境を整え、多くの参加者が一緒に楽しめる場を継続的に提供できるようにする。また、作成した作品を地域住民に発表する場を設ける。⑥午後はフリースペースとして、昼食を食べたり自由に過ごしてもらおうスペースとする。</p>	<p>4月～平成30年3月 月2回（第2・4火曜日） 計22回</p> <p>【予算】 60000円</p> <p>【参加費】 100円</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島ハーモニー ドレミ	<p>【目的】①地域住民だれもが気軽に参加できる内容の音楽会とし、また、音楽を通じた地域住民の交流の機会をつくる。②地域住民が参加するだけでなく、活動の中で参加者が仲間意識を持てる場を提供し、また地域活動への意欲を引き出す。③心身に支障がある方や、外出の機会が少ない方が、気軽に参加し、地域とのつながりを持つ場を提供する。</p> <p>【内容】</p> <p>①季節感を歌から感じてもらうよう、毎月季節にあった曲、愛唱歌として、毎回唄う曲を講師に選曲してもらう。ピアノの伴奏にあわせて合唱する。歌詞カードを配布し、歌詞がわからない歌でも歌えるようにする。また、参加者からのリクエストの時間を設け、参加者の発言の場をつくる。②参加者同士が交流できるよう休憩時間を設ける。参加者同士が顔見知りの関係が築けるように、ボランティアや職員で初めての参加者やひとりでの参加者、要支援者などに特に気を配り交流の支援を行う。③事業の参加の意欲を高める為に、文化祭で合唱する方を募集し、出演する。曲は講師に選曲してもらい、9月から練習曲として取り入れる。④地域住民が参加するだけでなく、参加者が仲間意識を持って、会場設営など自分が出来ることをお互い様の気持ちを持って活動できる場となるよう支援していく。</p> <p>⑤要支援者のフォローや会場設営、歌詞カードづくりなどの活動のボランティアを募集し、職員はボランティア活動支援として事業に関わっていく。</p>	<p>4月～平成30年3月 月2回（第2金曜・4木曜日） 計21回</p> <p>【予算】 98000円</p> <p>【参加費】 100円</p>

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康講座	【目的】①地域住民に日常ありがちな病気について理解を深め、日常生活に役立つ情報を発信し、病気の予防、健康への	4月～平成30年3月
事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぴーすらんど	<p>【目的】①子育て中の親子が気軽に集い、友達づくりや情報交換ができる場の提供。②子育てに不安があり、育児に悩む親への支援を行う。③子育て支援に興味を持つ地域住民のボランティア活動の場とし、地域交流等を図り、地域で子育て支援をする体制を形成していく。</p> <p>【内容】①親子が自由に時間を過ごせるフリースペースをつくる。②地域の保育園によるリズム体操を実施し保育園児と地域の親子が交流しながら一緒にリズム体操に参加できるようサポートをする③参加者が孤立せず、継続的に参加してもらえるよう、参加者同士の交流を促し、顔のみえる関係づくりに努める④地域や子育て支援関係機関から収集した情報を、必要とする親子に情報提供する。また、専門的な支援を必要としている親子を関係機関に繋げる。⑤ボランティアと親子が交流を図れるような体制を整え、ボランティアが充実した活動ができるようにする。</p>	4月～平成30年3月 月1回（第2水曜） 計11回 【予算】 23000円 【参加費】 なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぺこぼこ教室	<p>【目的】①身近な相談場所として、子育ての不安や悩みなどに対応し、支援を行う。②区役所子ども家庭支援課への情報提供、連携を行い、子どもの発達障がい早期発見支援に繋げる。③子どもの状況に応じて発達支援を行い、生き生きとした社会参加を実現させる。④発達に障がいがある、または障がいの疑いがあるお子さんとその親の居場所づくり</p> <p>【内容】親子と先生が遊びと音楽を通してふれあいながら、お子さんの発達の状況に応じて、お子さんの支援、親の相談対応を行う。反省会では、本日の進行の振り返りを講師よりコメントをもらいながら行う。また、参加者の子どもの発達状態について話合う。別途支援が必要と思われる子どもについては、講師に確認し、子ども家庭支援課へ情報提供を行う。</p>	4月～平成30年3月 月1回（第4水曜） 計12回 【予算】 174000円 【参加費】 なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
室内スポーツ 『ボッチャ』	<p>【目的】①障がい者と地域住民との交流を図り、スポーツを通して相互理解の促進、障がい者の余暇の充実、社会参加の機会を増やすことを目的とする。②普段、スポーツに触れる機会が少ない障がい者や身体に支障を抱えている方を対象に無理なくスポーツを楽しんでもらう環境づくり、心と身体のリフレッシュと健康の支援を行う。③ ボランティアの活動の場として、活動の推進、ボランティアの育成を行</p>	4月～平成30年3月 月1回（第4土曜） 計11回 【予算】 8000円 【参加費】

平成29年度 自主事業計画書

	<p>う。</p> <p>【内容】①パラリンピック正式種目『ボッチャ』をチーム戦で行う。ルールを誰もが理解できるように工夫することで、気軽に参加できるようにする。また、当日の進行リーダーを参加者に1名に担ってもらい他の参加者からの要望を伺いながら、進行のプログラムを決める。②参加者に目的を持ってもらう為に、日頃の成果を発揮する場として年1回総合大会を開催する。③参加者でチームを組み、保土ケ谷区の大会に参加し、事業の周知と参加者の社会参加意欲の高揚を図る。④参加者の身体の状態を把握し、ボランティアとサポート体制の打合せを行い障がい者のサポート等を担ってもらう。⑤ボランティアに準備体操のインストラクターを担ってもらう。</p>	なし
--	---	----

事業名	目的・内容	実施時期・回数
がっこうのかえりDE HIP HOP ダンス	<p>【目的】①子どもの状況に応じて発達支援を行い、音楽を通して、生き生きとした社会参加を実現させる。②発達障がいを持つ子ども達が地域で安心して暮らせるよう地域住民の発達障がいに対する理解を促す。③発達に障がいがある、または障がいの疑いがあるお子さんとその親の居場所づくり④地域の小学校等と連携し、地域で見守る体制がつけられるよう教師と顔のみえる関係づくりを行う。</p> <p>【内容】講師がダンスを通して発達障がいを持つ子どもとふれあいながら、お子さんの発達の状況に応じて、踊りの指導を行う。子どもが場に慣れるまでは、親にも一緒に参加してもらう。ボランティアも募集し、子どもの見守りを行っていく。※チラシ配布は小・中学校の個別級へ配布し、教師と顔のみえる関係づくりを行う。</p>	4月～平成30年3月 月1回（第4水曜） 計12回 【予算】 60000円 【参加費】 なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すまいるぶらす	<p>【目的】①地域住民が生活を豊かに楽しく過ごしてもらえようとする。②貸室活動団体が地域住民と繋がる機会を設け、貸室活動団体の人数増加や活動の活性化を目指す。③地域住民が共通の趣味活動を通して交流し、仲間意識を持った活動の場が広がるようにする。</p> <p>【内容】貸室団体や地域のボランティア団体が講師となり、趣味活動の体験を行う。身体を動かしたり、手先を使うなどの内容を実施し、地域住民の趣向に対応する内容とする。（ダンス、楽器演奏、手芸など）体験後は貸室団体の紹介、活動参加を呼びかける。</p>	4月～平成30年3月 年6回予定 【予算】 20000円 【参加費】 なし(材料費別)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜いきいきポイント登録研修会	<p>【目的】①地域の高齢者の健康増進や介護予防、社会参加や社会貢献を通じた生きがいづくりとしてボランティア活動を促進する②新たにボランティア活動を開始するにあたり「よこはまシニアボランティアポイント事業」の制度の概要や活動の心構えなどを理解してもらう③ケアプラザでのボランティア活動の周知と活動促進</p> <p>【内容】いきいきポイント制度を利用するための必要な説明</p>	6月、1回 【予算】 なし 【参加費】 なし

平成29年度 自主事業計画書

	会を身近な場所で行う。また、ケアプラザの活動の周知を行い、ボランティアとしての参加を促す。	
--	---	--

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すまいるフォークダンス	<p>【目的】①地域住民主体の貸室登録団体として参加者同士協力しあい自立して活動できる場をつくる②地域に新たなコミュニティを作り、継続的に活動できる場をつくる③趣味活動を通して、心身共にリフレッシュし、健康維持、増進を目指す</p> <p>【内容】役員中心に役割分担を行い活動を参加者自らで行ってもらおう。フォークダンスの進行は講師にお任せし、参加者の様子をみながら曲に合わせて指導を行ってもらおう。ケアプラザ職員は自主化に向け、活動のサポートを行っていく。</p>	毎月第4火 全12回 【予算】51000円 【参加費】200円

事業名	目的・内容	実施時期・回数
映画上映会	<p>【目的】①地域住民の方に身近な場所で、余暇を楽しんでもらう機会をつくる。②今まで、ケアプラザを利用したことない方に足を運んでもらい、ケアプラザの周知を行う。</p> <p>【内容】映画上映とその前後にケアプラザの周知を行う。</p>	2回 【予算】54000円 【参加費】なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
こども夏休み教室	<p>【目的】①夏休みの思い出としてもものづくりを行い、子どもたちに、ものづくりのおもしろさを知ってもらうことを目的とする。②子どもたちの安全で安心して過ごすことのできる居場所としてケアプラザの周知を行う。③地域住民や異学年との『交流活動』により日常において挨拶を交わせるよう顔見知りの関係を築く。</p> <p>【内容】小学全学年楽しめる内容とする。①科学を楽しんでもらいながらくるくるモーターを作成する。講師は地域の支援者に依頼した。②お料理教室をヘルスメイトの協力を得て実施する。</p>	8月、2回 【予算】20000円 【参加費】500円

事業名	目的・内容	実施時期・回数
AED講習会・避難訓練	<p>【目的】①ケアプラザを安心して利用してもらうために避難経路を利用者に知ってもらう。②地域住民と職員と一緒に訓練を行うことで実際の災害時に備えた訓練にする。</p> <p>【内容】参加者に避難経路の周知を行う。参加者と職員と一緒に調理室からの出火を想定した避難訓練を行い、火災に備える。ファーストエイドやAEDの講習を行う。</p>	9月、平成30年3月 年2回 【予算】なし 【参加費】なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島文化祭作品展	<p>【目的】①芸術に興味を持つ方に足を運んでもらい、ケアプラザを拠点とした新たなコミュニケーションを形成する機会をつくる。②地域住民の活動を展示することで、地域の魅力として地域を盛り上げ、一体感をつくる。③地域住民の作品を紹介すると共に地域資源の発掘を行う。</p> <p>【内容】地域住民の作品を募集し、約2週間展示を行い、開館時間内、常時拝観できるようにする。出展者からのメッ</p>	11月、1回 【予算】30000円 【参加費】なし

平成29年度 自主事業計画書

	セージ、PRなどを作品と共に展示し、活動の周知を行う。出展者には、必ず展示会場案内係りをボランティアとして担ってもらい地域住民との交流の場を設ける。	
--	--	--

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島文化祭	<p>【目的】①ケアプラザの貸室利用団体の活動の場を提供し、活動周知を地域住民に行う。②芸術に興味を持つ方に足を運んでもらい、ケアプラザを拠点とした新たなコミュニケーションを形成する機会をつくる。③地域住民の作品や活動を紹介すると共に地域資源の発掘を行う。</p> <p>【内容】2週間に渡り実施した作品展・地域アンケートの最終日の事業として模擬店、貸室団体の活動の周知の場として地域コンサートを実施する。また、事前に地域役員との内容検討会を行い地域住民の意見を取り入れた内容を検討する。継続して地域の福祉保健団体や地域住民にもボランティアとして参加してもらい地域の協力を得た祭りとする。子ども向けにも趣向を凝らし、多世代が参加できる内容とする。</p>	11月、1回 【予算】 250000円 【参加費】 模擬店購入費

事業名	目的・内容	実施時期・回数
川島さんぽ	<p>【目的】①歩くことで下肢の筋肉を刺激、脳を活性化させ健康づくりに役立ててもらおう②参加者同士の交流の場を設ける③景色をみながら会話や身体を動かすことで精神的にリフレッシュを図る</p> <p>【内容】季節に合わせたコースを参加者が地域の保健活動推進員と職員とともに歩く。途中休憩や、お楽しみレクリエーションなどを交える。最初と最後には健康状態の確認をおこなう。</p>	年3回 【予算】 10000円 【参加費】なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康フェスティバル	<p>【目的】自己の健康状態を確認すると共に健康に対する意識、関心をもってもらう</p> <p>【内容】いずれも子どもから高齢者まで体験してもらえらる内容。プログラムを参加者に配布する。地域のボランティアに各コーナーの担当を担ってもらおう。</p>	6月24日 1回 【予算】 200000円 【参加費】 なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉教育	<p>【目的】地域の小学生に①福祉への関心を高め、福祉活動に対する自主的な態度を培ってもらおう②ケアプラザ職員等との交流を通じ地域の高齢者や身近な人々のふれあいを広げ思いやりの心や優しい心を持ってもらう</p> <p>【内容】地域の小学校での人権週間内で、ケアプラザ職員が学年に応じた福祉教育を1時間ずつ行う。学校の人権教育目標を達成する一助となるような内容を工夫する。また、ケアプラザは福祉施設であること、誰もがそのよりどころにしてよいことなども知らせる場とする。</p>	11月下旬～12月初旬 【予算】 なし 【参加費】 なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クックGメン	<p>【目的】①調理実習にて調理が自分で出来るようになる事、調理する事の楽しみを得る事が出来る。②地域活動に参加しない男性高齢者へ外出の機会を設け、社会参加を促す。③1年通し行う事で食事や栄養について学び、健康的な生活を目指す。</p> <p>【内容】①毎回栄養のある食事を自分達で調理し、包丁の使い方などを習得しながら、レシピと工程表を配布し3品程度</p>	毎月第3木 全9回 (8月、1月休) 【予算】36,000円 【参加費】400円

平成29年度 自主事業計画書

調理する。また、テーマに沿った食事情報も掲載し、健康を意識した食生活を促す。②毎回の調理指導、食材の買い物、会計を地域のヘルスマイトに協力してもらい、自宅でも出来るような食材、調理方法で簡単に調理できる内容で行う。③川島地域ケアプラザの自主事業、その他の情報提供を行いながら参加者の地域との関わり、社会参加の様子を伺い、情報提供、社会参加を促していく。

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援活動情報誌 発行	<p>【目的】①生活支援・介護予防の体制整備活動として、地域の活動情報を収集し、地域住民への情報提供のツールを作成する②地域活動支援者及び活動に参加している地域住民との顔の見える関係づくり③地域住民に向け生活支援体制整備事業への理解促進④地域ケアプラザの業務や自主事業の周知</p> <p>【内容】①地域支援者情報誌「つながるほっとページ」の第4版発行のための情報収集を行う。既存の団体の活動の場に出向き、第4版の掲載内容に沿って聴き取りを行う。写真や参加者の声等を追加掲載し内容を充実させる。②活動の場に出向き、地域活動支援者や参加者にパンフレットを使って生活支援コーディネーターの活動紹介やケアプラザの業務、自主事業の案内を必要に応じて行い、顔を覚えてもらえるようPRを行う。休憩時間等、活動の妨げにならない範囲で声かえを行い、顔や名前がわかる関係づくりを行う。③活動の場に出向く際、参加者へ生活支援体制整備事業について案内する時間を取ってもらうよう依頼をし、地域の現状、既存の事業（ボランティアポイント、地域支援者活動等）などわかりやすい内容から説明を行う。</p>	H29.4～H30.3 【予算】30,000円 【参加費】なし

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいさんぽ	<p>【目的】①さんぽを通じて地域の情報共有を行い参加者どうしの交流の場をつくる。②ケアプラザまで出にくい方や1人暮らしの高齢者にも気軽に参加できる場づくり③地域の状況把握</p> <p>【内容】①民生委員・児童委員協議会の方の協力により実施する。陣が下溪谷をコースとし無理のないペースでゆっくり歩く。②交流の時間として茶菓子を喫しながら参加同士の関係づくりを促す。③地域アセスメントを交流の状況に合わせて、職員が会話の中で聴き取りを行う。合わせて必要と思われる情報を提供する。</p>	平成29年11月1回 【予算】10,000円 【参加費】無料

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支援者交流会	<p>【目的】①エリア内の自主活動グループやケアプラザで活動するボランティアがお互いの親睦を図り、今後の活動に活かすことができる情報交換を行う場の提供②地域活動支援者にケアプラザの機能・支援について知ってもらう。③地域支援者のネットワーク構築のための基盤づくり</p> <p>【内容】①活動エリアが近い支援者同士で席を設けグループ内で情報交換ができるようにする。②グループ同士の交流が</p>	H30.3月1回 【予算】15,000円 【参加費】なし

平成29年度 自主事業計画書

	<p>図れるようグループ対抗のゲームを行う。③参加者には事前に活動内容を情報提供してもらい冊子「ほっとページ」に情報掲載し、参加者へ他の地域の活動を周知する。</p>
--	---

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座メッセージ川島	<p>【目的】 ①地域の会合や集会に要望に応じて出向き、地域ケアプラザの概要や役割、地域交流・地域包括支援センターの専門分野（介護予防・健康、介護保険、権利擁護関係、子育て、障害関係）についての情報提供を行う ②ケアプラザを身近に感じてもらい、何かあればいつでも相談していただけるよう広報を行う</p> <p>【内容】 直接地域の会館や会合に出向き、ミニ講座を実施する。生活に役立つ情報（健康、介護、権利擁護関係、子育て、障害関係）をわかりやすく提供する。また、ケアプラザ（包括支援センター）を身近に感じてもらえるようにする。</p>	<p>【予算】 3,000 【参加費】 なし</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康づくり隊フォローアップ事業	<p>【目的】 ①健康づくり隊を卒業し、すでにボランティア活動をしている方が活動を継続するための支援 ②健康づくり隊を卒業し、ボランティア活動を始めていない方が活動を開始できるきっかけづくり。</p> <p>【内容】 ①既存の体操教室を見学し、教室の運営方法や体操・レクリエーションについて学ぶ。 ②活動者の体験談や実際の活動の様子など情報共有を行う。</p>	<p>【予算】 5,000 【参加費】 なし</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康ニコニコウォーキング	<p>【目的】 ①地域住民に正しい歩き方を学んでいただき、日常生活に活かして、健康増進・介護予防となる。 ②年代を限定せずに広く地域住民の方々に参加していただき、交流の場を設ける。 ③住み慣れた地域をまわり、日頃気づかない地域の名所や季節の草花に触れ、リフレッシュする機会となる。</p> <p>【内容】 ①少し距離を伸ばし、より負荷をかけたウォーキングを地域の方々に提供する。</p>	<p>【予算】 1,000 【参加費】 なし</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性のための体操教室（仮）	<p>【目的】 ①退職後の男性の社会参加を継続して促す ②介護予防に関する知識を習得し、継続して実践できる</p> <p>【内容】 外部講師を招き、ロコモティブシンドロームを予防する体操や筋力アップの体操を実施する。</p>	<p>【予算】 20,000 【参加費】 なし</p>

平成29年度 自主事業計画書

